

第54期 年次報告書

2019年4月1日～2020年3月31日



株主の皆様へ



代表取締役社長

武内 延公

株主の皆様におかれましては、格別なるご支援を賜り心より厚く御礼申し上げます。このたびの新型コロナウイルス感染症によってお亡くなりになった皆様には、謹んでお悔やみ申し上げますとともに、罹患された皆様には、一日も早い回復を心よりお祈り申し上げます。第54期年次報告書をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

エノモトグループは「経営の中心は人であり、健全なもののづくりを通じて、豊かな社会の実現に貢献する」という志を経営理念とし、1962年の創業以来、多くのプレス加工に関する新技術を開発し、打ち抜き加工・曲げ加工・絞り加工・樹脂成型加工等広範囲のジャンルの金型技術確立し、また、日進月歩で軽薄短小化・高機能化・多機能化する市場ニーズに応えるべく、金属とプラスチックの超微細複合加工技術確立し、日本のものづくりに貢献して参りました。

特に地球温暖化防止に貢献する省エネルギー関連製品のひとつであるLED（発光ダイオード）に代表されるオプト用リードフレームをはじめ、スマートフォン等のIT

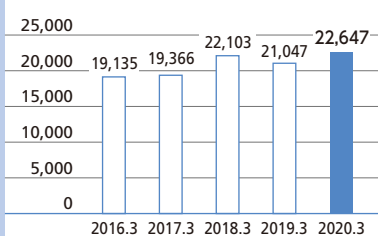
機器に搭載されているマイクロピッチコネクタ用部品、また自動運転車やIoTの普及に必須となる各種半導体リードフレームは、今後の社会の発展を支えるキーテクノロジーの一つであると自負しております。また、それらの製品を世界中の主要メーカーに供給していることにより、当社グループが今後とも豊かな社会を実現するために必要な存在であり続けることが出来るものと信じております。

当社グループは現状に甘んずること無く、将来のユーザーニーズ及び地域的需要に対応すべく、積極的に最適生産体制の構築を進め、市場競争力の強化にも努めて参りました。現在、国内は本社（塩山、上野原）津軽、

財務ハイライト（連結）

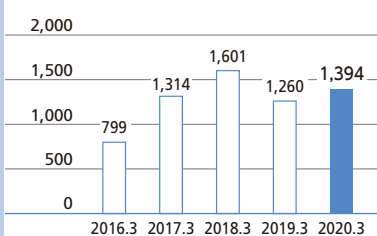
売上高

（単位:百万円）



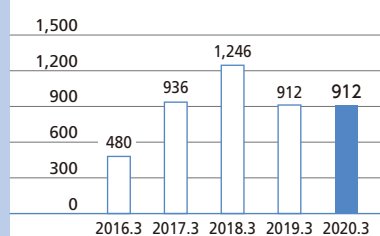
経常利益

（単位:百万円）



親会社株主に帰属する当期純利益

（単位:百万円）



岩手の計4工場体制、海外においてはフィリピン及び中国の2工場体制をとっており、グローバルな供給体制に対応できるアジアでも有数の金属と樹脂の精密複合加工メーカーとして確固たる地位を確立しております。

昨年度におけるわが国経済は、企業収益が高い水準で推移するとともに雇用及び所得環境も改善傾向となるなど持続的な回復基調にありましたが、年明けに顕著化した新型コロナウイルス感染症の世界的拡大により、世界経済の先行きは非常に不透明となっております。

当社グループの属する電子部品業界におきましては、自動車向け部品は世界的な自動車販売台数減少から伸びを欠いた一方で、モバイル関連向け部品は5Gへの過渡期でありながらも高機能カメラ等が市場で高い評価を得るなど、需要水準は高位で推移しました。

このような状況下、当社グループは更なる品質の改善と製造工程の自動化・効率化による製造コスト低減を組織的に推進し、売上及び収益力の向上に努めて参りました。

その結果、当連結会計年度の売上高は226億4千7百万円（前連結会計年度比7.5%増）、営業利益は13億5千8百万円（同20.0%増）、経常利益は13億9千4百万円（同10.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は前

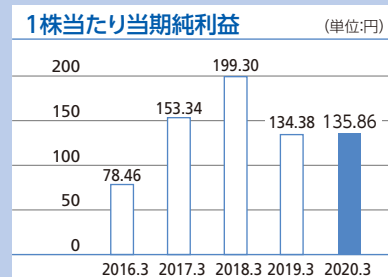
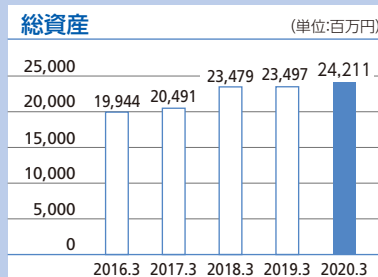
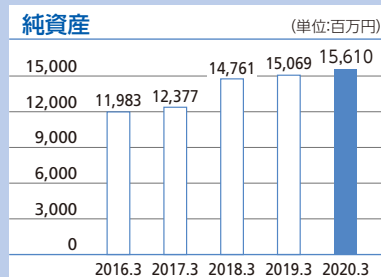
連結会計年度とほぼ同額の9億1千2百万円となりました。

当社は、株主に対する利益還元を経営の最重要政策と位置づけており、将来の事業展開と経営基盤強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当の継続を重視し、業績に裏付けられた成果の配分を行うことを基本方針としております。

当連結会計年度の期末配当は、当期の業績と配当性向を総合的に鑑み、1株当たり35円とさせていただきます。存じます。

当社グループは、絶えず顧客に信頼される製品を提供し、新製品の開発を行い、この事業を通じて会社の繁栄と社会の発展の一致を期すことを目指し、取引先及び従業員などのステークホルダーの信頼と理解を基礎とし、協力的な風を培い総力を結集して、企業としての安定性、成長性、収益性を高めることを重視しており、激しい国際競争が深まる中、いかなる事態にも迅速に対応でき得る強固な経営基盤を確立し、企業価値の最大化を目指し鋭意努力する所存でありますので、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年6月



※2017年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を実施しました。これに伴い、過年度の「1株当たり当期純利益」を適正修正しております。

| 事業別の概況

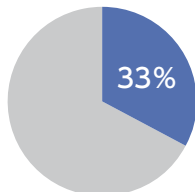
IC・トランジスタ用リードフレーム

売上高

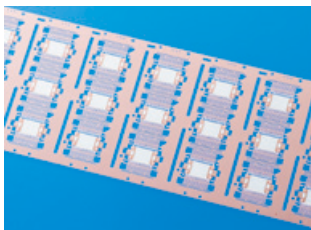
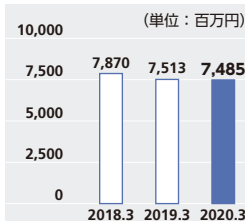
7,485百万円 ▼ 0.3%減

当製品群は、自動車向け、民生用機器向けが主なものであります。自動車向け部品が海外を中心とする自動車販売台数減少の影響を受けました。その結果、当製品群の売上高は74億8千5百万円（前年同期比0.3%減）となりました。

売上高比率



売上高推移



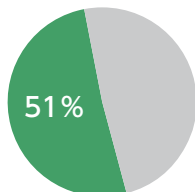
コネクタ用部品

売上高

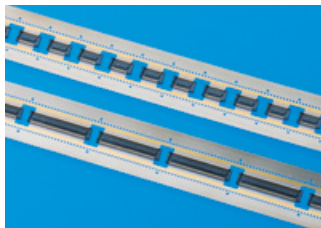
11,554百万円 ▲ 18.4%増

当製品群は、自動車向け、モバイル端末向けが主なものであります。スマートフォン向け部品やウェアラブル端末向け部品等の需要は高水準で推移しました。その結果、当製品群の売上高は115億5千4百万円（同18.4%増）となりました。

売上高比率



売上高推移



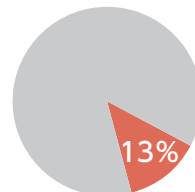
オプト用リードフレーム

売上高

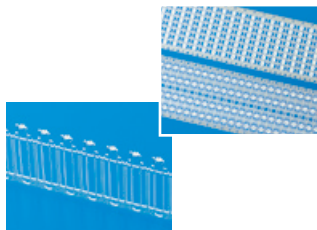
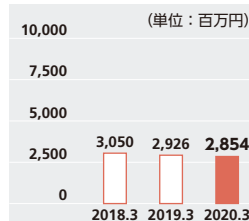
2,854百万円 ▼ 2.4%減

当製品群は、LED用リードフレームが主なものであります。前期に好調でありました自動車向け部品や、大型ディスプレイ及びアダプタイズメント等の設備向け部品が、当期は在庫調整局面に転じました。その結果、当製品群の売上高は28億5千4百万円（同2.4%減）となりました。

売上高比率



売上高推移



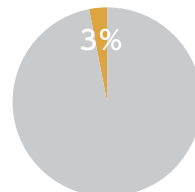
その他

売上高

752百万円 ▼ 11.9%減

その他の製品群としては、リレー用部品が主なものであります。当製品群の売上高は7億5千2百万（同11.9%減）となりました。

売上高比率



売上高推移



中期経営方針及び2020年度経営重点テーマ

当社グループは、2016年度から2020年度の5年間に当社グループの事業運営の指針となる、中期経営計画を策定しております。中期経営方針として『新たな価値の創造～他社が真似のできないものづくりを追求する～』を掲げており、当社グループが培ってきた技術力を最大限に活用し、さらに上のステージへ踏み出していくための決意を込めたものとなっております。

当社グループが対処すべき課題としては、下記の4点であると認識しております。

①人材確保と育成

当社グループの経営理念にもありますとおり『経営の中心は人』であり、培ってきた技術力の継承と発展を担う、特に若い世代の技術者の確保と育成は恒久的な課題です。国内外を問わずより幅広い人材の確保を図るとともに、中長期的視点に基づいた教育により人材育成を行っております。また従業員の能力や要望を正確に把握することで最善のワークライフバランスの実現を目指し、各個人が能力を最大限に発揮できる職場づくりに努めております。

②新たな分野へのアクション

当社グループは、従前の事業のカテゴリーにとらわれず蓄積された技術力や生産能力及び品質管理能力を生かせる分野への進出と、その準備について積極的に取り組んでおります。

③生産効率の向上

従前より取り組んで参りました、製造工程の改革を継続致します。特に、効率化・自動化・省人化の推進に重点を置き、金型製作における部品加工の自動化に向けた取り組みや、量産加工における作業工程の効率化を目的とした全社的な改善活動の推進など、生産コストの一層の削減を目指しております。

④海外生産の拡大

生産拠点の海外移転を推進すると同時に、国内外の技術者や管理者の交流を深めることでグループ全体の企業価値の向上を目指すとともに、より一層の生産の効率化と顧客サービスの充実を図っております。

また、経営方針の5年目にあたる2020年度の経営重点テーマとして、『貫徹』を掲げました。これは、各自が任務や目標を達成することに責任と誇りを持ち、能力を最大限に発揮することで組織としての更なる成長を目指すことを端的に表したものであります。

その他、当社事業やこれら施策を広く周知する活動に注力し、認知度及び企業価値向上に努めて参ります。

次期の見通し

次期の見通しにつきましては、いまだ新型コロナウイルス感染症の収束の時期や感染拡大が及ぼす影響範囲が全く見通せないため、先行きは非常に不透明な状況にあります。

当社グループの属する電子部品業界におきましても、最終製品の需要への影響範囲は推測することが非常に困難ではありますが、当社においても情報の収集と分析を鋭意進めております。

当連結会計年度末において国内の受注環境は比較的落ち着いた推移を維持しておりますが、サプライチェーンの状況や市場全体の在庫状況を押し量り次期の受注環境を予測しうる、十分に信頼がおけると思われる情報は入手出来ておりません。また、中国広東省及びフィリピンカビテ州にある生産拠点では受注環境や従業員の出勤状況に影響が出ており、その影響の波及期間や規模についても情報が不足しており、十分な確度を持った見積りが出来ない状況にあります。

このような状況を踏まえまして、現時点では事態の収束の時期が見通せず、また状況も日々刻々と変化しており、適正かつ合理的な業績予想の見積りが非常に困難なことから業績予想は「未定」とし、合理的に予想可能となった時点において速やかに公表いたします。

このような環境下、当社グループは引き続き品質の向上と製造コスト低減を目的とした製造工程の自動化・効率化の推進や、当社の強みである金属と樹脂の精密複合加工技術をベースとした過去の枠組みにとらわれない新たな顧客の積極的な開拓等、引き続き全社一丸となって売上及び収益力の向上に取り組んで参ります。

連結財務諸表

■連結貸借対照表（要旨）

（単位：千円）

科 目	前連結会計年度 2019.3.31	当連結会計年度 2020.3.31
資産の部		
流動資産	12,484,148	13,303,982
固定資産	11,013,685	10,907,080
有形固定資産	9,993,191	9,831,448
無形固定資産	83,071	177,610
投資その他の資産	937,422	898,022
資産合計	23,497,834	24,211,063
負債の部		
流動負債	7,425,500	7,226,867
固定負債	1,002,586	1,373,975
負債合計	8,428,086	8,600,843
純資産の部		
株主資本	15,264,934	15,892,345
資本金	4,749,333	4,749,333
資本剰余金	5,082,571	5,082,571
利益剰余金	5,585,980	6,213,621
自己株式	△152,950	△153,180
その他の包括利益累計額	△210,295	△297,234
新株予約権	15,109	15,109
純資産合計	15,069,747	15,610,219
負債純資産合計	23,497,834	24,211,063

Point 1

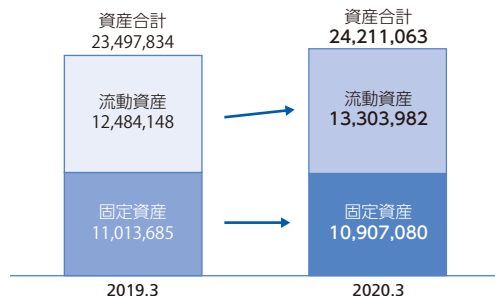
資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の総資産は、前期に比べ7億1千3百万円増加し、242億1千1百万円となりました。流動資産は、現預金及び売上債権の増加、一方、棚卸資産の減少により前期に比べ8億1千9百万円増加の133億3百万円となりました。固定資産は、減価償却費の増加及び減損損失により前期に比べ1億6百万円減少の109億7百万円となりました。

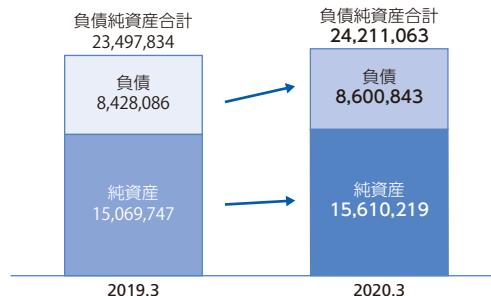
一方、負債合計は、前期に比べ1億7千2百万円増加し、86億円となりました。これは、主に未払法人税等及び長期借入金の増加、一方、短期借入金の減少によるものです。

また、純資産は利益剰余金の増加により156億1千万円となりました。この結果、自己資本比率は、64.4%となりました。

（単位：千円）



（単位：千円）



Consolidated Financial Statements

■連結損益計算書（要旨）

（単位：千円）

科 目	前連結会計年度 2018.4.1～ 2019.3.31	当連結会計年度 2019.4.1～ 2020.3.31
売上高	21,047,885	22,647,295
売上原価	17,660,149	19,053,742
売上総利益	3,387,736	3,593,552
販売費及び一般管理費	2,256,169	2,234,807
営業利益	1,131,566	1,358,745
営業外収益	201,165	141,874
営業外費用	72,486	106,216
経常利益	1,260,245	1,394,403
特別利益	117,276	102,711
特別損失	97,501	336,563
税金等調整前当期純利益	1,280,020	1,160,550
法人税、住民税及び事業税	255,493	291,582
法人税等調整額	111,930	△43,764
法人税等合計	367,423	247,818
当期純利益	912,597	912,732
親会社株主に帰属する当期純利益	912,597	912,732

Point 2

キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ4億8千7百万円増加し、当連結会計年度末には33億4千6百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は23億5千7百万円（前年同期は5億9千2百万円）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益11億6千万円の計上及び減価償却費14億7千2百万円による資金の増加、一方、売上債権8億7千万円の増加による資金の減少であります。

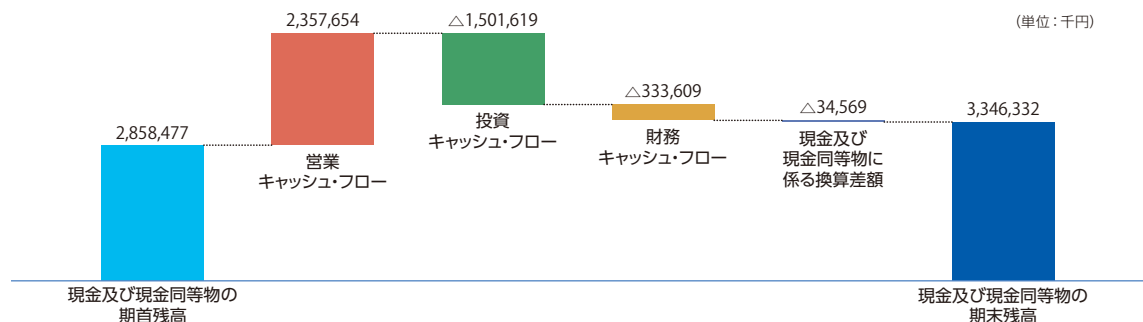
（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は15億1百万円（前年同期は12億3千8百万円）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出14億7千1百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は3億3千3百万円（前年同期は5億3千6百万円）となりました。これは主に長期借入金5億3千6百万円による資金の増加、一方、短期借入金の返済3億7千2百万円及び配当金の支払2億3千8百万円による資金の減少であります。

■連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）



個別財務諸表

Non-Consolidated Financial Statements

■ 貸借対照表 (要旨)

(単位：千円)

科 目	前会計年度 2019.3.31	当会計年度 2020.3.31
資産の部		
流動資産	6,702,849	7,359,705
固定資産	10,147,147	10,349,074
有形固定資産	6,225,519	6,332,039
無形固定資産	22,612	52,239
投資その他の資産	3,899,015	3,964,795
資産合計	16,849,996	17,708,780
負債の部		
流動負債	4,599,964	4,742,628
固定負債	383,822	760,713
負債合計	4,983,786	5,503,341
純資産の部		
株主資本	12,246,904	12,542,225
資本金	4,749,333	4,749,333
資本剰余金	5,082,571	5,082,571
利益剰余金	2,567,951	2,863,501
自己株式	△152,950	△153,180
評価・換算差額等	△395,803	△351,896
新株予約権	15,109	15,109
純資産合計	11,866,210	12,205,439
負債純資産合計	16,849,996	17,708,780

■ 損益計算書 (要旨)

(単位：千円)

科 目	前会計年度 2018.4.1～ 2019.3.31	当会計年度 2019.4.1～ 2020.3.31
売上高	12,639,379	14,300,773
売上原価	10,784,660	12,156,785
売上総利益	1,854,719	2,143,988
販売費及び一般管理費	1,359,764	1,393,665
営業利益	494,954	750,323
営業外収益	302,723	179,815
営業外費用	49,155	69,730
経常利益	748,522	860,407
特別利益	106,069	101,403
特別損失	74,839	298,639
税引前当期純利益	779,752	663,172
法人税、住民税及び事業税	97,000	156,000
法人税等調整額	23,802	△73,470
法人税等合計	120,802	82,529
当期純利益	658,949	580,642

■株式の状況

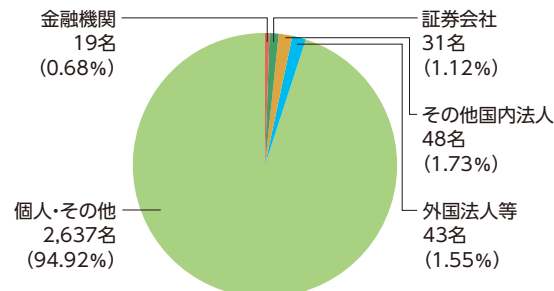
発行可能株式総数 15,000,000株
発行済株式の総数 6,865,360株
株主数 2,901名

大株主

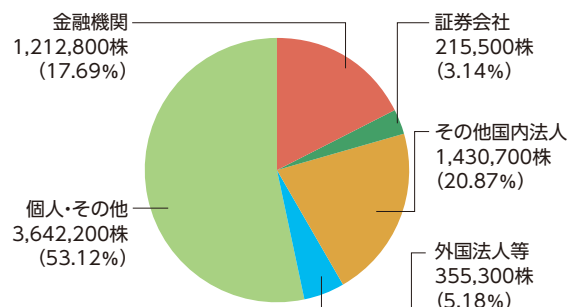
株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
有限会社エノモト興産	630,260	9.2
有限会社エムエヌ企画	420,328	6.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	399,600	5.8
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	278,300	4.0
エノモト従業員持株会	137,292	2.0
榎本寿子	128,104	1.8
櫻井妙子	128,060	1.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	116,700	1.7
松岡憲一	96,400	1.4
櫻井宣男	93,660	1.3

(注) 持株比率は自己株式 (57,583株) を控除して計算しております。

所有者別単元株主数比率



所有者別単元株式数比率



ホームページのご案内

<http://www.enomoto.co.jp>

最新の当社IR情報等をご覧ください。



■会社概要 (2020年3月31日現在)

社名	株式会社エノモト
本社	山梨県上野原市上野原8154番地19 TEL 0554 (62) 5111
創業	1962年7月1日
資本金	4,749,333千円
従業員数	470名 (連結1,243名)
事業内容	各種電子部品用プレス加工品及び射出成形加工品の製造販売
子会社	ENOMOTO PHILIPPINE MANUFACTURING Inc. ENOMOTO HONG KONG Co.,Ltd. ZHONGSHAN ENOMOTO Co.,Ltd.

■国内拠点

本社
〒409-0198 山梨県上野原市上野原8154番地19
TEL 0554 (62) 5111 FAX 0554 (63) 4193

営業部
〒409-0198 山梨県上野原市上野原8154番地19
TEL 0554 (62) 5112 FAX 0554 (62) 4319

本社工場
〒404-0036 山梨県甲州市塩山熊野666番地
TEL 0553 (32) 1111 FAX 0553 (32) 1159
〒409-0198 山梨県上野原市上野原8154番地19
TEL 0554 (62) 5115 FAX 0554 (62) 4089

津軽工場
〒037-0017 青森県五所川原市大字漆川字玉椿191番地1
TEL 0173 (33) 0570 FAX 0173 (34) 5206

岩手工場
〒028-1131 岩手県上閉伊郡大槌町大槌第10地割39番地
TEL 0193 (42) 8511 FAX 0193 (42) 8513

■役員 (2020年6月25日現在)

代表取締役社長	武内 延公	上席執行役員	磯部 千春
常務取締役	白鳥 誉	上席執行役員	小川 秀雄
常務取締役	久嶋 光博	執行役員	小俣 芳弘
取締役	櫻井 宣男	執行役員	山下 久幸
常勤監査等委員 (社外)	加藤 正	執行役員	渡邊 芳明
監査等委員 (社外)	八巻 佐知子	執行役員	中村 隆
監査等委員 (社外)	氏家 美千代		

■海外拠点



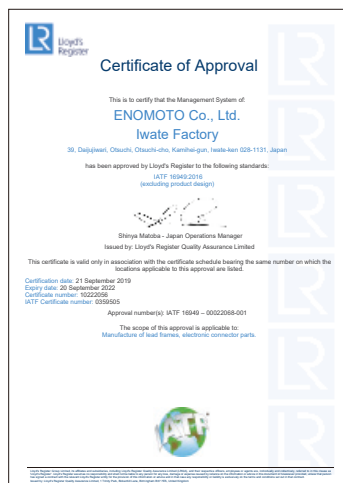
～車載部品の更なる受注拡大へ 岩手工場IATF16949認証取得～

2019年9月、エノモト岩手工場がIATF16949認証を取得しました。当社グループにおいては中国子会社 ZHONGSHAN ENOMOTO Co.,Ltd.に続き2拠点目の取得です。

これは品質管理に関する国際規格ISO9001を基とし自動車業界特有の品質要求事項を付加したセクター規格で、岩手工場の品質管理体制が要求事項を充足していることが外部認証機関によって証明されたことは、新たな受注獲得の大きな力となります。

近年、自動車の電装化は急激に進行しており、今後も自動車向けの電子部品、半導体部品の需要は増加が期待されています。

当社は他工場でも同認証取得に向けた取り組みを行っており、今後も成長分野への積極的な事業展開を行って参ります。



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月下旬
基準日 定時株主総会・期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
特別口座の
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の
本店及び全国各支店で行っております。

- ・住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細 <https://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



<https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 6928

いいかぶ

検索



空メールにより
URL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を差しさせていただきます

ENOMOTO Co.,Ltd.



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

